



北東中だより

No.4

甲府市立北東中学校
令和2年6月25日

文責 渡邊 豪

給食再開！！

学校再開から2週間が経過した6月8日（月）に、給食が再開しました。給食の再開とともに、授業も平常の6校時（火曜日は5校時）となり、部活動と感染防止の様々な対応以外は、学校生活がほぼ通常通りに戻りました。



給食を再開させるあたっては、給食の配膳時と喫食時に感染リスクが増えることにどう対応するかを、身支度や手洗い・配膳の仕方、給食を食べる時の注意事項など、職員で何度も検討確認を行い再開当日を迎えました。久しぶりの給食準備ということもあり、多少戸惑うことも予想されましたが、さすがは北東中生、とてもスムーズな準備でした。

給食を食べる時は、インフルエンザ等の感染症が流行している時と同じように、班隊形にならず全員前を向いて、さらに、マスクを外しているので黙って食べています。現在は、感染リスクを低減させることが最優先なので、仕方ありません。みんなが給食を食べながら、笑顔で楽しい会話ができる日が、早く来ることを願っています。

前期学級役員認証式

6月12日（金）の午後、令和2年度「前期学級役員認証式」を体育館で行いました。始業式は放送で行ったので、今年度初めて全校で体育館に集まりました。感染リスクを下げるために、一人一人の前後左右の間隔を最大限に広げ、体育館全面に生徒が並んだ状態で実施しました。本校の全校生徒数と体育館の面積から考えると、一人一人の間隔は確保でき、さらに、マスクを着用して発声せずに全員が同じ方向を向いているので、感染リスクを低くすることができます。体育館への入退場は、学年ごとに時間差をつけ、密にならないように行いました。これは、今後体育館を全校で使用しなければならない時に備えての練習でもあります。何より、前期の学級役員として、様々な活動の中心になってくれる皆さんを、全校生徒の見るところで認証したいという思いが強かったため、体育館で認証式を行いました。



3年生の学級役員から認証しました。学年の先生から呼名されると、大きなはっきりとした声で「はい」と返事をして、自分が立つべき位置へ移動します。返事のみならず、起立の仕方、歩き方、礼の仕方、どれ一つとっても素晴らしい内容でした。その後、学年代表の1名が登壇し、認証状を渡しました。整列している一人一人の表情は穏やかな中にも毅然とした雰囲気があり、学級役員として取り組む活動への意欲に満ちあふれているように感じられました。3年生が手本となり、続く2年生、1年生もとても素晴らしい態度で、認証式に臨むことができました。

認証式での学級役員の返事の仕方や立ち居振る舞いを見ている他の生徒には、無意識のうちにその様子が認知され、自分たちの、そして北東中学校の行動様式を形作っていきます。これこそがまさにその校の伝統や学校文化の形成であり、継承だと思えます。北東中学校が、この地に開校して以来、多くの先輩方が一つ一つのことを大切にしながら取り組んできて、それが伝統とし

て引き継がれ、現在の北東中学校やこの地域の力となっているのだと思います。

部活動再開

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う学校の臨時休業措置以来、活動が中止されていた部活動ですが、学校が再開し全国で緊急事態宣言が解除されたことに伴い再開しました。再開に先立ち5月21日には、スポーツ庁より示されたガイドラインに基づき、山梨県教育委員会より「部活動再開に関するガイドライン」が示されました。第1ステージから第5ステージまで、5週間かけて段階的に活動内容と活動時間を徐々に広げていく計画です。



本校でも再開に向けて放送による全校部活動集会、その後各部ごとに密にならないよう注意しながら部集会を行い、今後の活動内容・活動時間、感染防止対策のための行動等を確認し、再開への準備を入念に行いました。



部活動等の再開に当たり学校として特に注意を払っているのは、様々な活動が時期を同じくして再開することで、生徒の過重な負担にならないようにすることと、新型コロナウイルスへの感染リスクが一気に高まることのないようにすることです。何人かの生徒と言葉を交わしましたが、部活動の再開を楽しみにしている生徒が本当に多い、ということを実感しました。今後、段階的に活動が広がり対外試合等が始まると、ご家庭の協力をいただく場面も多いかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、部活動に限らず様々な活動の活動可能範囲を段階的に広げていき、可能なかぎり従来の学校生活に近い形に近づけていくことが理想です。しかし、活動内容や活動範囲を広げるほど、感染リスクが高まることが懸念されます。部活動をはじめとして様々な活動に参加する際に、感染リスク等の不安がある場合は学校にご相談下さい。

安全・安心な学校を目指して

学校は、生徒にとって安全・安心な場所でなければなりません。これは、当然のことであり、生徒の安全が常に保障できるように、学校では「危機管理マニュアル」「防災・防犯マニュアル」「北東中いじめ防止基本方針」等及び諸規定を定め、生徒が安全・安心な学校生活を送れるように、常に再評価と改善を行っています。



今年度は、年度初めに職員のネームホルダーを作成し、全職員が勤務時間中身に着けることにより、来校した人にセキュリティ意識の高い組織である、ということを示すようにしました。また、職員玄関には、来校者であることを明確に示すために、職員とは別の色のネームホルダーを用意し、来校時に着用してもらうようにしました。さらに、現時点ではまだ実施できていませんが、授業参観等保護者の方に来校していただく際に、本校の保護者であることが一目でわかるように、保護者用のネームホルダーを配付する予定です。今後、保護者来校行事の際には、ネームホルダーの着用をお願いします。



また、先日の県内ニュースでも報道されましたが、学校に防犯カメラが設置されました。これは長年の要望事項であり、学校のセキュリティが格段に向上したと考えます。職員室には防犯カメラの映像を映すモニターがあるので、学校への来校者が映像で確認できるとともに、記録されます。さらにセキュリティを高めるために、生徒玄関等の1階または2階の入口部分が、これまで未施錠で誰でも出入りができる状態でしたが、生徒在校時は全て施錠することにし、外部からの不審者侵入対策のセキュリティレベルを上げました。お子さんの迎え等の来校時は、職員玄関からお入り下さい。